■実践報告

演題名「HPH＆SDH問診票」の必要性

[1]小西艶子[1)]、鈴木美香[2)]、安岡淳一[3)]、石川藍[4)]、土井奈緒[5)]、根岸京田[6)]

東京　1･2)東京保健生協本部、3) 大泉生協病院、4)橋場診療所 、5) 東京健生病院、6)蔵前協立診療所

1. 背景･目的

2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、集まることを制限されたり、人とつながることが難しい環境になった。

また、高齢化が進む中、核家族化や非婚化などを背景に、都心では一人暮らしの高齢者や高齢夫婦のみ世帯が増えると予測されている。東京に住む高齢者の近所付き合いでは、2025年度から「お互いに訪問し合う人がいる」人の割合が一貫して低下する一方、「付き合いがない」人の割合が増加している。

2. 研究方法

①「HPH＆SDH問診票」の改訂
②介入方法作成
③看護部、情報システム部と協力して電子カルテに問診票導入
　2021年8月、法人HPH推進委員会より全事業所に案内
④第8次中期構想（2021年～2025年）
　「誰一人取り残さない公正　な社会」づくり提起
⑤2021年･2022年の年度方針に「HPH＆SDH問診票」を活用し、「困りごとのキャッチ･SDHの解決」を提起

3. 結果

「HPH＆SDH問診」

氏名（　　）年齢（　　）

1･喫煙	現在たばこを習慣的に吸っていますか？	①はい
		②いいえ
	①と回答した方 禁煙の意思がある･または禁煙に関心がありますか？	①はい
		②いいえ
2･飲酒	お酒は週どの位の頻度で飲みますか？	①飲まない
		②週5日以下
		③毎日
	②･③と回答した方 1日のアルコールの量はどの位ですか？ （日本酒1合=ビール500ml）	①1合未満
		②1合以上2合未満
		③2合以上3合未満
		④3合以上
3･運動	1日30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか？	①はい
		②いいえ
4･身長･体重	現在の身長を教えてください	身長（　　cm）
	現在の体重を教えてください	体重（　　kg）
	BMI　⇒	
SDH 5	お一人暮らしですか？	①はい
		②いいえ
SDH 6	趣味やささやかな贅沢を楽しむための経済的な余裕はありますか	①余裕あり
		②少し余裕あり
		②いいえ
SDH 7	家計の支払いで困ることはありますか	①はい
		②いいえ
SDH 8	この1週間に人と話したり連絡する機会はありましたか	①毎日誰かと話した
		②週のうち数日話した
		③全く話していない
SDH 9	この1週間笑いましたか	①笑顔でいられた
		②時々笑顔でいられた
		③笑っていない
10･歯科	この半年で歯科を受診しましたか	①はい：治療とクリーニング
		②はい：治療のみ
		③受診していない

東京保健生活協同組合

取り組み状況
[病院2　診療所9]

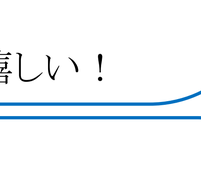
1～4の項目は全ての病院･診療所で実施。

SDH項目･歯科は診療所2事業所で一部の患者に実施。

SDH介入

6･SDH Q6	趣味やささやかな贅沢を楽しむための経済的な余裕はありますか		余裕あり			
			少し余裕あり			
			余裕なし	→ 面談	→	経済的支援ツールも参考にして対応
Q7	家計の支払いで困ることはありますか	はい	困ることあり	→ 面談	→	経済的支援ツールも参考にして対応 看護師が個別に確認（時間確保） MSWや事務が社会資源につなげるなど
		いいえ				
Q8	この1週間に人と話したり連絡する機会はありましたか	毎日誰かと話した				
		週のうち数日話した		→ 困った時に相談できる人はいますか	→ はい	
		全く話していない			→ いいえ →	カンファレンス 支部ニュース配布
Q9	この1週間笑いましたか	笑顔でいられた				
		時々笑顔でいられた				
		笑っていない		→ こころとからだの質問票実施（うつのスコア） 支部ニュース配布		

班会や支部活動につなげる



事例1（Aさん　80代女性　独居）

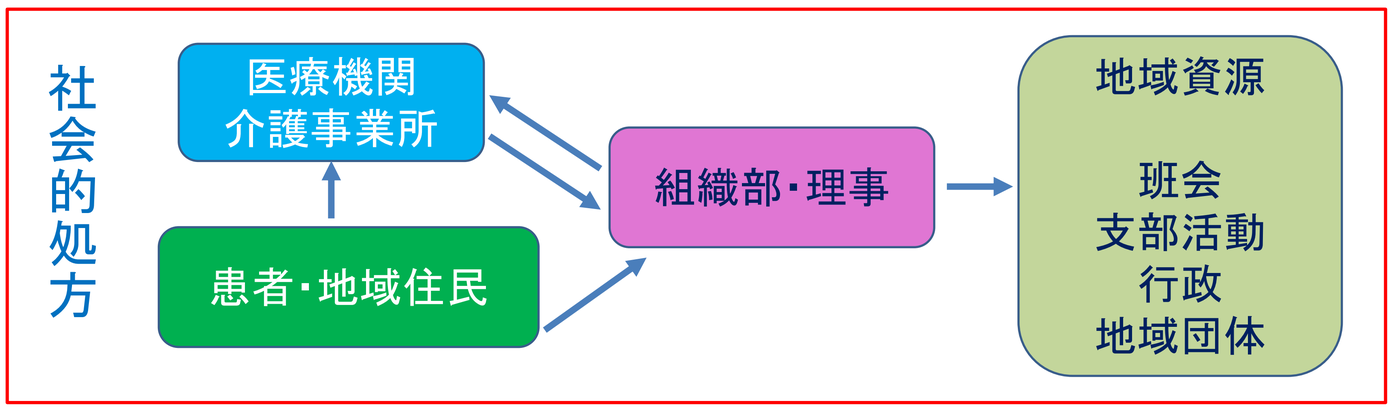
経過：①病院で整形外科受診を希望し看護師に状況を説明
「毎日孤独。出歩くのが大変」看護師が班会のことを話すと「参加したい」
②病院看護師から組織部に連絡。「本人に連絡して欲しい」
③組織部はAさんに電話で連絡。訪問の許可を得る
④Aさんの住む地域担当理事と一緒に自宅訪問
- 自宅は60年前に建設された急な坂の上のおしゃれなアパート
- 「一人で自由にしているけど、夕方声が出るか試してみる」
- 「風呂場で転倒。筋肉をつけないといけないと言われ、区の体操に行っているけど誰とも話せない」

⑤地域の班会を紹介。「是非行きたい」交通機関も確認
⑥公園内を歩く「ウォーキング班会」に参加。
「とても楽しかった。また参加したい」
⑦担当理事は意識的に電話をしている。電話をもらうのが嬉しい！

事例2（Bさん　80代女性　独居）

経過：①病院看護師から「一人暮らしで家に閉じこもっている。班会などに誘って欲しい」と理事に連絡
②法人指針で班会が再開。班会に誘うと「フレイル班」「ウォーキング班会」に参加。「楽しい。他何かできることはないの？」
③機関紙の仕分け、配達も本人から「やりたい」と参加
④フードバンクの仕分けや配布担当も行い、「みんなでワイワイ話ができるのがとても嬉しい」

Aさん、Bさんが加わった支部：「楽しい！」「嬉しい！」「ありがとう！」の言葉が聞けて、支部が元気になってきました。 **相乗効果　大きい**



4. 考察

「社会とのつながりをもつこと」は禁煙にも匹敵する長生き効果があると言われている。今回の2つの事例は医療機関で孤立を健康の阻害要因と認識し、発信し、地域につながった事例で社会的処方になる。この間、法人で「HPH＆SDH問診票」の学習をしてきたことも功を奏したと考えられる。特に今後独居が増える中、ヘルスプロモーションを事業活動の中でも実践できるために、職員教育を継続していくことが重要である。更に、「HPH＆SDH問診票」の意義を周知し、システム化を図り、早期に全事業所で活用し、早い段階で「困りごとをキャッチ」し解決していくことが必要である。

お問い合わせ

E-Maill　t-konishi@tokyo-health.coop

日本HPHネットワーク
利益相反（COI）の開示

筆頭演者名：小西艶子
共同演者名：鈴木美香、安岡淳一、石川藍、土井奈緒、根岸京田
筆頭演者ならびに共同演者に開示すべきCOIはありません。